

神奈川県立精神医療センター 講演会

「強迫症の認知行動療法」

強迫症は一般になじみがない病名かもしれませんが、どの国にも2.5%程度は診断される人がおり、統合失調症の4-5倍の患者数とされています。長時間の洗浄行為や繰り返す確認行為が症状の主なものです。一方で、「きれい好き-潔癖性-強迫症」や「慎重-完璧主義-強迫症」ラインは連続しており、どこからを病気として線引きするのか明確ではなく、診断されていない強迫症予備軍は相当存在します。うつ病との合併も3割程あるとされています。

好きな音楽のジャンルやいつも選ぶ食べ物の銘柄のようなこだわりは多かれ少なかれ誰にでもあるものです。誰かの「こだわり」という価値観を無視して意見をすると、そこでいさかいが起こってしまいます。趣味の違いで関係性が壊れてもいいけれど、患者さんや大切な家族を援助する立場にある人がその人のこだわりを論破しようとするのは支援にならず、認知行動療法でもありません。患者さんと争いにならないよう、こだわりという価値観を大事にしながらも、いつの間にか患者さんがそのこだわりを緩め生活がしやすくなるような援助の実際についてお伝えしたいと思います。

日時：平成29年7月6日（木曜日）18：00～20：00

（開場 17:30）

会場：神奈川県立精神医療センター 講堂

（神奈川県横浜市港南区芹が谷 2-5-1）

演者：岡嶋 美代（おかじま みよ）

千代田メンタルクリニック／なごやメンタルクリニック

専門行動療法士（日本認知・行動療法学会認定）

日本動機づけ面接協会理事



著書：「やめたいのに、やめられないー強迫性障害は自分で治せる」（マキノ出版）、

「やさしくわかる強迫性障害」（ナツメ社）など

～申込書に記入していただき事前にお申し込みください～

FAX：045-822-0270

神奈川県立精神医療センター地域医療連携室